

2019 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	京都技術士会理科支援チーム
活動テーマ	東日本大震災復興支援こども理科実験教室2019



私たち京都技術士会理科支援チームは、2019年も「東日本大震災復興支援こども理科実験教室」を開催しました。母体である京都技術士会では15年前から有志により理科実験教室を開催しています。主に京都府や滋賀県などで活動してきましたが、2012年より東北地方でも開催しています。

これまでに、2012年：宮城県仙台市・七が浜町、2013年：福島県会津若松市・会津坂下町、2014年：福島県会津若松市・喜多方市、2015年：福島県いわき市、2016年・2017年：福島県郡山市、岩手県大船渡市・陸前高田市、2018年：福島県福島市、岩手県大船渡市・陸前高田市、宮城県気仙沼市で、そして2019年は、2回目の開催となる福島県いわき市で理科実験教室を実施しました。

今回のいわき教室では、台風19号の影響により、当初予定の4教室8テーマから、やむなく2教室4テーマに規模を縮小し開催することとなりましたが、延べ62名の子どもの参加をいただきました（応募していただいた総数は、約150名もありました）。このことから、被災地において、このような理科実験教室のニーズが多くあり、子どもたちの理科に対する興味を引き出す機会が望まれていると確信する次第です。

※写真は、左上：「しんどうし電気もつくれるふしぎな焼きもの」、右上：「タワシムシを作ろう」、左下：「酸性、アルカリ性を調べよう」、右下：「電球をつくろう」の様子です。